

● 深川市地域公共交通計画改訂内容まとめ

① P64

改訂前

改訂後

5. 基本方針と基本目標及び定量な目標

(2) 公共交通の機能分担と性格・役割

基本方針から、地域公共交通として位置づける各公共交通の機能分担、性格・役割を以下のとおり整理し、これを将来の公共交通体系とします。なお北空知4町地域公共交通計画、中空知地域公共交通計画、北海道上川地域公共交通計画及び北海道留萌管内地域公共交通計画と整合を図るものとします。

表 5-1 公共交通の機能分担と性格・役割

機能分担		性格・役割
幹線交通 ・ JR 函館本線		・ 北海道の骨格となる公共交通ネットワーク ・ 通勤、通学、通院、買物、観光など多様な目的に対応
広域交通	・ 高速のもし号 ・ 留萌旭川線 ・ 深旭線	・ 中核都市である札幌市や旭川市を結ぶ公共交通ネットワーク ・ 通勤、通学、通院、買物、観光など多様な目的に対応
	・ JR 留萌本線 (R8.3.31 廃止予定) ・ 深滝線 (雨竜経由) ・ 滝深線 (音江経由) ・ 沼田線 ・ 深名線	・ 地域中心都市である本市と周辺市町村等を結ぶ公共交通ネットワーク ・ 通勤、通学、通院、買物などの目的に対応
生活圏交通	【地域内フィーダー系統】 ・ 循環線 ・ デマンド交通「納内経由菊丘線」 ・ AI を用いたオンデマンド交通 (研究・検討) 【その他の交通手段】 ・ 多度志線 ・ 西北星線 ・ 多様な交通手段 (検討) ・ ハイヤー	・ 市街地内、あるいは郊外と市街地との間の生活交通を支える公共交通ネットワーク ・ 通勤、通学、通院、買物などの目的に対応
	主要な交通結節点 ・ JR 深川駅、JR 納内駅 ・ 深川駅周辺複合施設 (R8 年度予定) ・ 深川市立病院	・ 駅前広場に加え、中央公民館機能、バスターミナル機能などを併せ持つ交通結節点

5. 基本方針と基本目標及び定量な目標

(2) 公共交通の機能分担と性格・役割

基本方針から、地域公共交通として位置づける各公共交通の機能分担、性格・役割を以下のとおり整理し、これを将来の公共交通体系とします。なお北空知4町地域公共交通計画、中空知地域公共交通計画、北海道上川地域公共交通計画及び北海道留萌管内地域公共交通計画と整合を図るものとします。

表 5-1 公共交通の機能分担と性格・役割

機能分担		性格・役割
幹線交通 ・ JR 函館本線		・ 北海道の骨格となる公共交通ネットワーク ・ 通勤、通学、通院、買物、観光など多様な目的に対応
広域交通	・ 高速のもし号 ・ 留萌旭川線 ・ 深旭線	・ 中核都市である札幌市や旭川市を結ぶ公共交通ネットワーク ・ 通勤、通学、通院、買物、観光など多様な目的に対応
	・ JR 留萌本線 (R8.3.31 廃止予定) ・ 深滝線 (雨竜経由) ・ 滝深線 (音江経由) ・ 沼田線 ・ 深名線	・ 地域中心都市である本市と周辺市町村等を結ぶ公共交通ネットワーク ・ 通勤、通学、通院、買物などの目的に対応
生活圏交通	【地域内フィーダー系統】 ・ 循環線 ・ AI を用いたオンデマンド交通 (研究・検討) 【その他の交通手段】 ・ 多度志線 ・ 西北星線 ・ 多様な交通手段 (検討) ・ ハイヤー ・ デマンド交通「納内経由菊丘線」	・ 市街地内、あるいは郊外と市街地との間の生活交通を支える公共交通ネットワーク ・ 通勤、通学、通院、買物などの目的に対応
	主要な交通結節点 ・ JR 深川駅、JR 納内駅 ・ 深川駅周辺複合施設 (R8 年度予定) ・ 深川市立病院	・ 駅前広場に加え、中央公民館機能、バスターミナル機能などを併せ持つ交通結節点

●深川市地域公共交通計画改訂内容まとめ

②P73

改訂前

改訂後

6. 目標を達成するための施策及び実施主体の設定

6. 目標を達成するための施策及び実施主体の設定

②デマンド交通「納内經由菊丘線」の確保維持							
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・芦旭線・更進線の休廃止に伴う代替交通として、また、公共交通空白地域への移動手段の確保のために予約制のデマンド交通「納内經由菊丘線」の実証実験を令和3年10月から令和5年度末まで実施しました。 ・「乗合」を前提とした交通サービスとして導入していますが、乗合率は36.1%（令和5年9月時点の実績平均）と、6割以上の運行が、「1人乗車」となっており、「乗合率」の向上が必要です。 ・令和6年度からは稼働状況や乗合率、燃油等の高騰なども踏まえた運行内容へ見直し、本格運行へ移行する予定です。 						
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民のニーズを把握しながら、運行を継続するために必要な取り組みについて検討します。 ・本格運行移行後においても、乗合率や収益率が減少する場合、運行内容の検討・見直しを必要に応じて行います。 ・納内ハイヤーが運行するデマンド交通「納内經由菊丘線」においては、運行区域内の住民の生活動線を確保するとともに、地域公共交通確保改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）を活用し、安定的な確保維持を目指します。 ・車両の老朽化への対応や輸送量に見合った車両の購入等を図る際には、地域公共交通確保維持改善事業（車両減価償却費等国庫補助金）を活用し、安全かつ効率的な輸送の確保を目指します。 						
実施主体	・深川市、市内交通事業者						
スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R10</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">※利用実態に合わせて都度見直し</td> </tr> </table>	R6	R10			※利用実態に合わせて都度見直し	
R6	R10						
							
※利用実態に合わせて都度見直し							

②デマンド交通「納内經由菊丘線」の確保維持							
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・芦旭線・更進線の休廃止に伴う代替交通として、また、公共交通空白地域への移動手段の確保のために予約制のデマンド交通「納内經由菊丘線」の実証実験を令和3年10月から令和5年度末まで実施しました。 ・「乗合」を前提とした交通サービスとして導入していますが、乗合率は36.1%（令和5年9月時点の実績平均）と、6割以上の運行が、「1人乗車」となっており、「乗合率」の向上が必要です。 ・令和6年度からは稼働状況や乗合率、燃油等の高騰なども踏まえた運行内容へ見直し、本格運行へ移行する予定です。 						
施策概要	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線住民のニーズを把握しながら、運行を継続するために必要な取り組みについて検討します。 ・本格運行移行後においても、乗合率や収益率が減少する場合、運行内容の検討・見直しを必要に応じて行うなど、安全かつ効率的な輸送の確保を目指します。 						
実施主体	・深川市、市内交通事業者						
スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>R6</td> <td>R10</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">※利用実態に合わせて都度見直し</td> </tr> </table>	R6	R10			※利用実態に合わせて都度見直し	
R6	R10						
							
※利用実態に合わせて都度見直し							



図6-2 デマンド交通「納内經由菊丘線」の運行エリア



図6-2 デマンド交通「納内經由菊丘線」の運行エリア